



1 感染防止対策を徹底して開催された成人式 2 実行委員会企画では中学校恩師からのメッセージが放映された 3 3人の家族が登壇し、新成人への手紙を朗読 4 5新成人を代表して誓いの言葉を述べた千葉さんと門脇さん 6 7成長を見守ってくれた家族へ宛てた手紙を書く新成人 8 旧友との再会に、笑顔で記念撮影 9 アトラクション（よさこい団体「飛勇凜」）が式典に花を添えた



いきました。
式典後の実行委員会企画「未来を創る君たちへ」では、中学校の恩師からのビデオメッセージが上映されました。当時の先生が登場すると歓声が上がリ、懐かしい声に耳を傾けていました。
記念行事「家族からの手紙、20歳からの手紙」では、スクリーンに映し出された映像と共に、家族が新成人に宛てた心のこもった手紙を朗読。新成人はこれまで育ててくれた家族へ、感謝の気持ちを手紙につづりました。



2022 奥州市成人式

今年のテーマは“縁”

3年度市成人式が1月9日、市文化会館（Zホール）を会場に、新型コロナウイルスの感染防止対策を取った上で行われました。
対象者1178人のうち、889人が出席。会場は華やかな振り袖の女性や、スーツやかま姿の男性でにぎわい、友人らと晴れ着姿で記念撮影する姿があちこちで見られました。新成人は、新たな門出を迎え、感謝と誓いを胸に大人への一步を踏み出しました。式典で小沢昌記市長は「両親をはじめとする周囲の人への感謝を忘れずにいてほしい」と式辞を贈りました。
新成人を代表し、実行委員の千葉諒さん（衣川地域）と門脇安優さん（胆沢地域）が誓いの言葉を発表。千葉さんは「20歳は人生の通過点に過ぎず、これからが大人への第一歩。大人とは何かを日々考え、立派になれるよう共に精進していきましょう」、門脇さんは「新たな出会いや経験を重ねながら時には自分自身を見つめ直し、自分にとっての大人を追求し実現したい」とそれぞれさらなる努力を誓いました。